

第1回 総括検討会 議事録

1. 開催日時：平成15年 4月25日(金) 10:00～12:00

2. 開催場所：航空会館 502会議室

3. 出席者：(順不同, 敬称略)

- 委員：柴田主査(防災科学技術研究所), 原副主査(東京理科大学), 遠藤幹事(日本原電), 齋藤幹事補佐(東京電力), 秋野, 久野(中部電力), 金谷(関西電力), 金津(電中研), 福西(三菱重工業), 中川(日立), 兼近(鹿島建設), 清水(大林組), 北田(NUPEC), 石崎(竹中工務店), 森山(大成建設)(計15名)
- 代理出席：小江(関西電力・白井代理), 武田(清水建設・長谷川代理), 半田(東芝・中島代理)(計3名)
- 欠席委員：野田(東京電力), 市橋(NUPEC)(計2名)
- オブザーバ：尾崎(関西電力), 高島(原子力安全・保安院), 松田(内閣府 原子力安全委員会事務局), 松本(清水建設), 伝法谷(電源開発), 金刺(北海道電力)(計6名)
- 事務局：浅井・堀江・肥後・福原(日本電気協会)(計4名)

4. 配布資料

- | | |
|-----------|---|
| 資料 No.1-1 | 日本電気協会 原子力規格委員会 規約 |
| 資料 No.1-2 | 耐震設計分科会 総括検討会委員名簿 |
| 資料 No.1-3 | 耐震設計分科会・検討会の公開について |
| 資料 No.1-4 | 耐震設計分科会 規格改廃要否及び平成14年度活動実績, 平成15年度活動計画(案) |

5. 議事

(1) 検討会公開に関する留意事項について

資料 No.1-1 に基づき、事務局より検討会公開に関する留意事項として、規約の概要について以下の説明が行われた。

- ・ 検討会主査は互選で、副主査は主査の指名による。初回検討会において実施する必要がある。
- ・ 会議定足数の規定はないが、決議に際しては委員総数の2/3以上の出席及び出席者の4/5以上の賛成が必要となる。
- ・ 公開とは、開催案内をホームページ及び電気新聞で公知し、傍聴者の出席及び資料開示請求への対応など、分科会と同様の扱いとなる。
- ・ 検討会委員の変更は分科会承認事項となる。

(2) 総括検討会主査選任手続きについて

規約に基づき手続きを行った結果、主査候補として柴田委員が推薦され、その他候補者の推薦がないことを確認した後、挙手による決議を行った結果、委員総数 20 名、出席委員 18 名のうち全員の賛成で、柴田委員が主査に選任された。

柴田主査より、副主査として原委員、また規約上の規定はないが、幹事として遠藤委員、副幹事として白井委員、幹事補佐として齋藤委員が指名された。

また、副主査として指名のあった原委員は大変多忙なため、耐震設計分科会委員の久保氏(名古屋工業大学)を今後副主査として総括検討会委員に迎えることとし、次回分科会で検討会委員としての承認手続きを行うこととなった。

(3) 総括検討会の今後の運営について

柴田主査より、今後の総括検討会は、従来の規格条文の審議を行うものではなく、全体構成・表現、他検討会との調整などを行う場とすること、またこれまで本検討会で審議を行っていた S C 指針については、今後建物・構築物検討会で審議すること、との方針が示された。

また、資料 No.1-3 に基づき、遠藤幹事より総括検討会の役割について、以下の項目が提示され、反対意見なく了承された。

- a . 総括検討会は、全体に係わる基本方針策定及び各検討会の相互調整などの機能を持つものとする。
- b . 各検討会から出された規格原案を分科会に諮る前に総括検討会審議を行い、専門の検討会とは別の観点から分科会で審議しやすいものとするための調整を行う。
- c . 総括検討会の開催頻度は、JEAG4601 改定が完了するまでの間は開催頻度が多くなることが予想される。定常状態では 4 回 / 年程度を予想している。
- d . 各検討会における作業会 (非公開) 設置については、総括検討会における承認事項とする。

(4) 各検討会の現状紹介

各検討会活動状況の現状について、旧幹事各位より以下の紹介があった。

a . 地震・地震動検討会

JEAG4601 改定作業は、審査指針改定に直接影響のない範囲から改定文案作成作業を実施中。新たに検討会委員となる学識者への現状説明は 5 月連休明けに実施予定。

b . 土木構造物検討会

JEAG4601 改定作業は、審査指針改定に直接影響のない範囲から改定文案作成作業を実施中。新たに検討会委員となる学識者への現状説明は実施中であり、6 月を目標に初回検討会を開催予定。

c . 建物・構築物検討会

JEAG4601 改定作業は、改定案目次等の準備を完了。新たに検討会委員となる学識者への現状説明は既に終了した。

JEAG4616 乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針 (案) の公衆審査

は5月6日終了予定。S C 指針制定作業は本検討会にて継続実施予定。

d . 機器・配管系検討会

JEAG4601 改定作業は、審査指針改定に直接影響のない範囲から改定文案作成作業を実施中。また、規格委員会の JEAG 記載を仕様基準化すべきとの方針に基づき、記載内容の整備を実施中。

(5) その他

- a . 資料 No.1-4 分科会次年度計画 (案) について、3月26日開催の原子力規格委員会で審議時間の関係上審議できず、現在書面による審議を実施中。5月連休明けに手続き完了予定。
- b . JEAG4616 乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針 (案) の公衆審査は5月6日完了予定であるが、現段階では規格案に対する意見は寄せられていないとの報告があった。
- c . 各検討会の主査・副主査による打ち合わせ (検討会連絡会) を6月3日に開催し、必要な調整事項を整理する予定。各検討会は出来るだけ早期に第1回検討会を開催し、主査選任手続きを完了するよう、柴田主査より要望があった。
- d . 機器の弾塑性設計のプラクティカルな方法の JEAG 取り込みについて、現在遠藤幹事を中心に検討を行っており、またコンクリート関係については齋藤幹事補佐を中心に今後検討いただく予定との紹介があった。

以 上